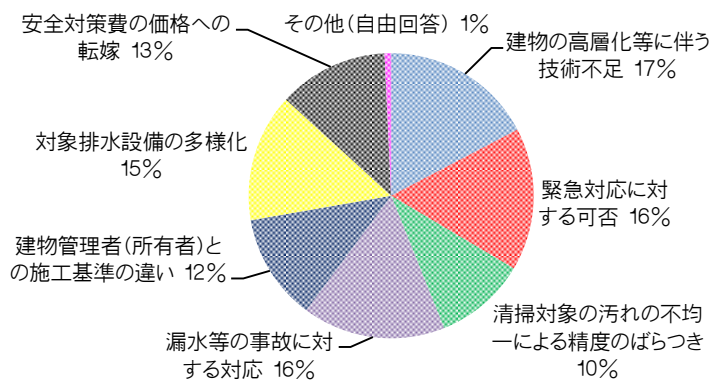


Q4. 各企業が抱える排水管洗浄における技術的な問題点

技術的な問題点は、すべての問いで均等に問題意識が高く、甲乙つけがたい回答になった。中でも「建物の高層化に伴う技術不足」と「緊急対応に対する可否」を1位にあげた数が同数で最も多かった。1位から3位の全体的な評価で見ると「漏水等の事故に対する対応」も問題点としてあげられていた。



	上位から順に			割合
	1位	2位	3位	
① 建物の高層化等に伴う技術不足	19	9	18	17%
② 緊急対応に対する可否	19	12	6	16%
③ 清掃対象の汚れの不均一による精度のばらつき	7	11	13	10%
④ 漏水等の事故に対する対応	17	13	10	16%
⑤ 建物管理者(所有者)との施行基準の違い	12	11	7	12%
⑥ 対象排水設備の多様化	8	23	8	15%
⑦ 安全対策費の価格への転嫁	9	9	22	12%
⑧ その他(自由回答)	0	1	2	1%
(回答総数)	91	89	86	

【自由回答】 ※原文をそのまま掲載しております。

- ・経験不足による作業時間の非効率。
- ・リフォーム(リニューアル)実施物件に対する同マンションの他のお客様との違い(既設排水管との相違による洗浄方法のばらつきや作業時間のばらつき)。
- ・CCDカメラの活用法(排水管の多様化で故障が多い)。
- ・経年マンションの合流部の錆によるトラブルが近年出ていて頭を痛める。
- ・古いマンションのリフォームに伴う流し台の排水管設備がお粗末で洗浄時に苦勞する(流しメーカーに工夫してほしい)。
- ・熟練技術者の人員不足による作業の精度の低下。
- ・ドラム式洗濯機が設置してある場合の洗浄方法。
- ・いまだにメッシュホースを使用して排水管洗浄を行っている業者を見かける。